

報道関係各位

2019年10月16日  
株式会社ツクイ

## 「横浜 F・マリノス親子三世代サッカー教室」開催のご報告

～ 楽しく体を動かして認知症の予防に取り組もう！ ～

株式会社ツクイ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 高橋靖宏、以下「ツクイ」）は、オフィシャルスポンサー契約を締結している Jリーグ所属のプロサッカークラブ、横浜 F・マリノス（所在：神奈川県横浜市、代表取締役社長 黒澤良二）がホームタウンで行う“ふれあい活動”として、親子三世代が一緒に参加するサッカー教室を開催しましたので、以下の通りご報告いたします。



集合写真

### 開催概要

主催：株式会社ツクイ

日時：2019年10月6日（日）10：30～12：00

場所：マリノストリコロールパーク上大岡

神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-6-1（京急百貨店・上大岡駅屋上）

指導：横浜 F・マリノス ふれあい事業部 部長 望月 選 コーチ

芝崎 啓 コーチ

小林 陸玖 コーチ

横浜 F・マリノス フトウロ

外崎 蒼紫 選手

参加者：「子ども（4～10歳）・親・祖父母」の3世代、10組30名

## 活動報告

横浜 F・マリノスのふれあいサッカーコーチによる親子 3 世代で楽しむプログラムを体験していただきました。  
また、当社が支援をする横浜 F・マリノス フトゥーロから外崎選手もコーチとして教室に参加しました。

1. ウォームアップ コーチの指示通りに 3 世代一緒に頭と体を使って行うストレッチ
2. ボールを使ったトレーニング (一人一つ、3 世代 1 組)
3. 3 世代 (子どもチーム、父母チーム、祖父母チーム) 対抗ミニゲーム

〈参加者 (祖母・母・娘) のコメント〉

楽しそうなイベントがある！と家族で声をかけ、祖母はしぶしぶ参加でしたが当日は一番はしゃいでいました。  
頭と体を程よく使うメニューで、楽しんで参加でき、また認知症予防を家族で考えるきっかけにもなりました。ミニゲームでは、祖母・孫のボールの取り合いがお互いエキサイトしたそうです。



ウォームアップ



ボールを使ったトレーニング



ミニゲーム (試合开始前)



ミニゲーム (子どもチーム vs 祖父母チーム)



ミニゲーム (子どもチーム vs 祖父母チーム)



ミニゲーム (子どもチーム vs 父母チーム)

以上



**【参考：“認知症”、“障がい者スポーツ”をテーマに横浜 F・マリノスとパートナーシップ活動】**

■ 認知症予防での連携

「地域に根ざしたスポーツ振興による豊かな社会づくり」を目指す「ふれあいサッカープロジェクト」のパートナーとして、マリノスの専属コーチが展開する「ふれあい活動」を支援するとともに「認知症予防プログラム」を共同実施。

□ 認知症サポーターへの理解促進

オレンジリングの理解促進活動の一環として「親子 3 世代サッカー教室」を開催。

■ 障がい者スポーツの支援

マリノスが取り組む Inclusive Football（障がいの有無に関わらずサッカーを楽しめる世界）の重要な 2 つのプロジェクト、知的障がい者サッカーチーム「横浜 F・マリノス フトゥーロ」、および電動車椅子サッカーを支援。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ツクイ IR・広報部 渡邊・杉浦・奥山

Mail : [press@apps.tsukui.net](mailto:press@apps.tsukui.net) TEL : 045-842-4193